

研修内容ご紹介！

幼児教育センターでは、毎年さまざまな研修を行っています。今回は、「発達と愛着形成について」の研修で学んだ、子どもの心の成長を支える「キーパーソン」の大切さについてご紹介します。



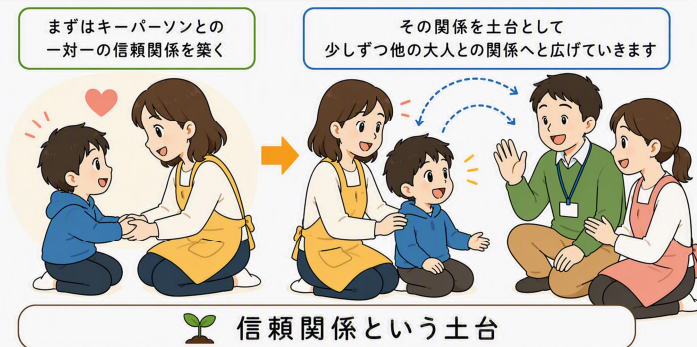
**演題：「発達と愛着に課題を抱えた子どもたちへの理解と支援
～Part2(個別な支援と集団の支援)～」**

講師：桃山学院大学 人間教育学部 人間教育学科 教授 松久 眞実 氏

愛着に課題を抱える子どもは、不安感から感情のコントロールが難しかったり、自分を大切にしようとする人に攻撃的な態度を示したりすることがあります。また、自分の気持ちをうまく言葉で表せず、暴言や乱暴な行動として表れてしまうこともあります。



愛着形成・修復のためには、まずキーパーソンとの一対一の信頼関係を築くことが大切です。そして、その関係を土台として少しずつ他の大人との関係へと広げていきます。



キーパーソンには、子どもの感情を言葉にして伝えることや、感情を言い当てたり先回りして支援したりする「先手支援」が求められます。「イライラしているからだね」「寂しかったのかな」などと気持ちを言葉にすることで、子どもは自分の感情を理解しやすくなり、「自分を分かってくれる大人がいる」という安心感につながります。



子どもを継続的に観察し、行動の背景にある思いを理解することも大切です。



事例を基にしたグループ討議では、具体的な支援方法やキーパーソンの役割について理解を深めることができました。

参加されたこども園、小・中学校の先生方の感想

- ・今回の学びを、子ども一人一人が安心して過ごせる保育につなげていきたい。
- ・子どもとの信頼関係を大切に、一人一人に寄り添った支援を目指していきたい。
- ・一人で抱え込まず、チームで話し合いながら継続的に支援していきたい。

発達と愛着形成についての研修は今年で2回目になります(5回完結)。パート3は令和9年8月24日(火)を予定しています。こども園、小・中学校の先生方、ぜひご参加ください。